

★キラリ中央星★

【全九州高等学校バドミントン競技大会】篠原 麟太郎・西原口 嶺 6/13～6/16 大分

【南九州高等学校陸上競技大会】田口 碩大 6/15 沖縄

【全九州高等学校水泳競技大会】清敷 大輔・松山 海渡・日高 世稀・坂口 空・徳田 結生 7/19～7/21 佐賀

【全国高等学校総合文化祭出場】淵脇 啓太郎 7/27～7/28 茨城

新聞 鹿児島中央

発行所
鹿児島中央高等学校
新聞委員会
鹿児島市加治屋町10-1

印刷所
鹿児島市上荒田町55-1
朝日印刷



今号の紙面

- 2面・スマホ等許可制
・センター試験2015
- 3面・ようこそ鹿児島中央へ
・先生教えて聞かせて
- 4面・中玉戦5連覇



【棒高跳び】
田口 碩大

部活動を終えて

私は、中学校では野球をしていたので、入学して陸上部に入るまでは、あまり陸上競技に関心がありませんでした。しかし、入部して、先輩や同級生と一緒に走ることで、陸上競技の奥深さを知り、どんどん速くなる周りの友達にうらやましさを感じ、自分も走ることを続けられました。

棒高跳びを始めたのは、一年の夏頃です。棒高跳びは、施設がないと出来ないもので、他校の陸上部と一緒に練習させてもらいました。知らない人しかいない環境の中で、技術を学べたことは、これからも役立つと思います。

一人では、決して続けられなかったと思います。親の送迎や東先生のご指導、周りのサポートがあったから、続けられたことだと思います。感謝です。

最後に、南九州大会で、試合の前日、沖縄の浜辺を東先生と歩いていたら、ちょうど真上に虹がかかりました。運がついて三年間の部活動だったと思います。

Q&A

- AQ** 棒高跳びを始めたきっかけ
明桜館(練習場所)の先輩に誘われたから。
- AQ** 九州大会での感想は？
全国レベルの人と戦えたことが、嬉しかった。
- AQ** 困難は？
失敗したらマットの外に落ち体を地面にうちつけて痛いこと。
- AQ** 楽しさは？
高くなっていくバーをこえてから、落ちる間に見えるものが新鮮だった。

(久木野 謙)

水泳部九州大会へ

七月十九日から三日間をかけた、佐賀県総合運動場水泳場で行われた競泳の九州大会。中央水泳部も個人、団体で参加し、炎天下の中、白熱を極めた。

全国への道は厳しく、決勝まで残ることはできなかったが、三年の選手にとってはこれからの挑戦への力となる。一・二年にとっては今後の課題を知ることができた試合になった。

個人でも団体でも出場した松山さんは、「緊張しなかった。ベストは出すことができなかったが、全力を尽くすことができた。同じ鹿児島情報高校の泳ぎを見て、自分ももっと努力して、周りに感動を与えられるようになりたい」と語った。

また元部長の坂之上さんは、「ただただ仲間に感謝。水泳部は最高の仲間だ」と、部長としての思い出を語ってくれた。

三年生にとってこの経験が、今後の受験に向かって突き進む糧となることを、一・二年生にとっては、次のステップへのバネとなるにちがいない。

(坂口 文吉)



まだまだこれから

二年連続で九州大会の舞台に立つことができた。しかし、私はインターハイのかかった準決勝でいつも通りのプレーができなかったことと先輩として、ペアの西原口をインターハイに連れていけなかったことがとても悔しくて情けない。九州大会の一回戦の相手は長崎の強豪校。大差で負けた。高校バドミントンが終わった瞬間だった。普通、大差で負けたら悔しいはずなのに、とても満足していた。なぜなら自分の今できる最高のプレーができたからだ。試合が終わった後に「練習量が少ないのに九州大会にいけるなんてすごいよ」と周りの人に言われた。高一の途中で筋トレを始め、体重が8kgも増え、以前よりも強い球が打てるようになった。試合前にはいつも整骨院で体のケアをしてもらい、家でも、プロ選手の試合を何度も見てイメージトレーニングをした。結果としては結びつかなかったが、とても充実した三年間だった。



【バドミントン】篠原 麟太郎

Legend

～新たな歴史を創造せよ～

第52回 文化祭



今年から三年生も参加となった文化祭は大いに盛り上がり、三年生は講堂で物品、食物バザーやストラックアウト、射的など様々なブースを開き、生徒だけでなく保護者や一般の方々を楽しませた。

私は食物バザーで洋菓子を買った瞬間だった。普通、大差で負けたら悔しいはずなのに、とても満足していた。なぜなら自分の今できる最高のプレーができたからだ。試合が終わった後に「練習量が少ないのに九州大会にいけるなんてすごいよ」と周りの人に言われた。高一の途中で筋トレを始め、体重が8kgも増え、以前よりも強い球が打てるようになった。試合前にはいつも整骨院で体のケアをしてもらい、家でも、プロ選手の試合を何度も見てイメージトレーニングをした。結果としては結びつかなかったが、とても充実した三年間だった。

段々も考えておきたい。一言に「防災」と言っても一筋縄ではいかない。学校での防災訓練、家庭での防災意識の向上、家庭の強化など手立ては様々。身の危険を感じたら、まの足元には注意しよう。

自分たちの命を守るために
西村 さとみ

災害に備え、自分の命は自分で守る心構えを持つとともに、自然災害を軽減するために地球環境を守る心を育みたいものである。私たち高校生にも十分にできることはないだろうか。

現在、自分用の携帯電話を持っていてる高校生は全体の約七割を占めている。その中でも一日二時間以上使用している割合は約六割。この二時間以上使用するというのは、携帯依存症予備軍であることを意味しており、高校生に一人以上がこれに当てはまることになる。また、「携帯を遠ざけるのに苦労した」と言っている。一度依存してしまうと、なかなか抜け出せないのだ。そうすると、予備軍のうち、なんとおかしなおかしな行動を繰り返すことになる。

よく、携帯電話を遠ざける方法に親に預ける、電源を切るなどが挙げられるが、どちらも本人の意思が固くないと成り立たない方法だ。携帯電話の持ち込みが許可された今が、改めて携帯電話との付き合い方を考える良い機会なのではないだろうか。

(新里 麻衣)

文化祭でのお茶会は緊張で一杯だった。これが私の中で真っ先に出てくるお茶会での感想だ。表情にまで緊張が伝わる中、ふと先輩と学ぶことが多かった。経験の

差は簡単には埋められないが、努力をし、来年の茶席では貢献をしていきたいと思う。

(平石 涼子)

三張

段々も考えておきたい。一言に「防災」と言っても一筋縄ではいかない。学校での防災訓練、家庭での防災意識の向上、家庭の強化など手立ては様々。身の危険を感じたら、まの足元には注意しよう。

自分たちの命を守るために
西村 さとみ

災害に備え、自分の命は自分で守る心構えを持つとともに、自然災害を軽減するために地球環境を守る心を育みたいものである。私たち高校生にも十分にできることはないだろうか。

瑠璃天

今年度の途中から、我が校でも携帯電話の持ち込みが許可された。

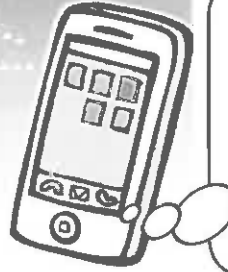
現在、自分用の携帯電話を持っていてる高校生は全体の約七割を占めている。その中でも一日二時間以上使用している割合は約六割。この二時間以上使用するというのは、携帯依存症予備軍であることを意味しており、高校生に一人以上がこれに当てはまることになる。また、「携帯を遠ざけるのに苦労した」と言っている。一度依存してしまうと、なかなか抜け出せないのだ。そうすると、予備軍のうち、なんとおかしなおかしな行動を繰り返すことになる。

よく、携帯電話を遠ざける方法に親に預ける、電源を切るなどが挙げられるが、どちらも本人の意思が固くないと成り立たない方法だ。携帯電話の持ち込みが許可された今が、改めて携帯電話との付き合い方を考える良い機会なのではないだろうか。

(新里 麻衣)

特集 持ち込み許可制へ 中央生のケータイ事情

スマートフォン等
持ち込み許可!!
現在 444名
46.7%



生徒の声は…



「携帯電話を持っていない生徒Aさん」

「携帯電話は必要ないと思う。便利な面もたくさんあると思うが、携帯は勉強の邪魔になるし、情報に翻弄されてしまう気がする。どんな風に使おうかは個人の自由だけど、使いすぎはよくないと思う。」

「携帯電話を持っていないがあまり使わない生徒Bさん」

「携帯電話は必要だと思ってる。携帯は友人間や部活動の主な連絡手段なので無かったら困る。確かに勉強の妨げはなってしまうこともあるが、自分の意思を強く持って、携帯を使用する時間を制限している。」

携帯電話・スマートフォン 持ち込み許可制について

遠木 蘭 ほか

一年前の生徒会から「100日間指導ゼロ」を目標にしてみました。この目標を達成するのは容易ではなく、学年によっても差がありました。そのとき、生徒会役員という立場から大人数の意識を高める難しさを感じました。けれど、指導ゼロが何日続いているかを気にかけている生徒もいることを知り、難しさや充実感を感じるとともに、どうにか達成したいと思える活動でした。

近年、携帯電話の普及に伴い、見かける公衆電話の数が減っているように感じることから下校時の保護者との連絡のため、不審者対策といった方が一

携帯電話に依存気味の生徒Cさん

「携帯電話がないと生きていけない。家で勉強するときは、視野に入るところに携帯を置いてある。一日に百件以上メールをするので、携帯がなかったら連絡が取れなくて困る。」



「携帯がないと生きていけない。家で勉強するときは、視野に入るところに携帯を置いてある。一日に百件以上メールをするので、携帯がなかったら連絡が取れなくて困る。」

の事態に備え、持ち込み許可制は必要だと考えます。きつと持ち込みが許可されることで安心する生徒や保護者の方も多いと思います。もちろん学校生活自体には必要ないため、校内使用は違反です。学校に持ち込む目的を勘違いすることがないようにしてもらいたいです。校内でのルールについては六月の代議員会で話し合いました。どの学年からも多くの意見を出してもらったおかげで、有意義な話し合いになりました。



「携帯がないと生きていけない。家で勉強するときは、視野に入るところに携帯を置いてある。一日に百件以上メールをするので、携帯がなかったら連絡が取れなくて困る。」

意識を高く持つて

意識を高く持つて

藤下 尚輝

先日、携帯電話・スマートフォンを持ち込み許可制が施行されました。この案件は、私たちの先輩方の代から実現したいと渴望されてきたことでした。ここに至るまでに、生徒会を中心に積み重ねてきたものがいくつもありました。

その中でも一番大きかったのは、「百日運動」だと思います。これは、携帯・スマホを持ち込まない意識を生徒全員に高めてもらい、指導数を減らそうというものです。学年ごとにカウン

トをとり、目に見える生徒会掲示板にその数を記したことが功を成し、以前に比べて指導数を減らすことができました。

このような取り組みの形はどうであれ、私たちの心の中の「規律を遵守する」という意識を高められたことが、携帯電話・スマートフォンでの許可制へと繋がったのではないかと思います。

ところで、普段の学校生活に携帯・スマホは全く必要ありません。飽くまで、緊急時の連絡手段等のみを目的とした許可制です。ですから、生徒会が提示したルールに則って、正しく活用してもらいたいと思います。

許可制が導入され、これから私たちが直面する問題はさらに増えて行くことでしょうか。その時に重要となってくるのは、私たち自身だけで問題に対処していくことです。生徒全員が意見を

出し合い、最善の解決策を模索することで、この先、この便利な機器と上手に付き合うことができると思います。

情報化社会の今、携帯やスマ

Change 新生徒会 発足

生徒会本部役員改選が行われ前期本部役員11名が選出された。

生徒会長

2年5組 遠木蘭ひかる

生徒会副会長

2年2組 原 滉希

生活部長

2年6組 吉田 直弘

生活次長

2年2組 菅浦谷 将

体育部長

2年5組 椎原 史都

体育次長(生徒会副会長兼任)

2年8組 堀之内美優

文化部長

2年4組 大重 光星

文化次長

1年6組 末吉 桃佳

会計書記部長

1年4組 尾崎 美月

会計書記次長

2年3組 荒瀬 拓帆

美化部長

1年2組 水吉雪之介

美化次長

1年4組 永井 修太

新課程「数学・理科」センター試験 特集

平成27年度大学入試は、数学・理科について、新しい学習指導要領に対応した最初の大学入試である。センター試験では、数学Aが従前の全問必答から「選択解答」に変わる。理科は物理・化学・生物・地学の4領域で、それぞれ「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」の8科目を区分した「4パターン」からの選択解答になる。新課程センター試験の実施方法や学習法など、平成27年度センター対策に役立つさまざまな情報を提供しよう。



複雑化するセンター試験「理科」の選択方法の把握、早期の志望校決定が重要に!

平成27年度大学入試は、数学・理科について、高校での新学習指導要領(新課程)に対応した最初の入試になる。数学は数学Cがなくなり、数学I・A・II・B・IIIの科目編成となる。

また、理科は、「基礎を付した科目」(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎)と「基礎を付していない科目」(物理、化学、生物、地学)の2種類からなる。

これらの科目が、センター試験や各大学の独自試験(国公立大個別試験、私立大独自入試)でどのように利用されるのか、そのポイントや注意点を解説しよう。

理科はA～Dの選択方法のいずれかで受験!

理科① (60分/100点)

基礎科目

- 「物理基礎」
- 「化学基礎」
- 「生物基礎」
- 「地学基礎」

理科② (1科目選択=60分/100点
2科目選択=120分/200点)

発展科目

- 「物理」
- 「化学」
- 「生物」
- 「地学」

※ここでは、基礎を付した科目を「基礎科目」、基礎を付していない科目を「発展科目」と表記した。

選択方法	基礎	発展
選択方法 A 「基礎科目」から2科目	基礎	基礎
選択方法 B 「発展科目」から1科目	発展	発展
選択方法 C 「基礎科目」から2科目、及び「発展科目」から1科目	基礎	基礎
選択方法 D 「発展科目」から2科目	発展	発展

ポイント

- A～Dの選択方法をセンター試験の出願時に登録する。
- それまでに志望校を(ある程度)決定し、A～Dの選択方法のどれを採用しているかチェック。大学の科目指定等を満たしていないと、出願しても判定されない。
- 選択方法Cでは、同一名称を含む科目同士の選択の可否があるので、要注意。
※「同一名称を含む科目の組み合わせ」とは、「物理基礎と物理」、「化学基礎と化学」、「生物基礎と生物」、「地学基礎と地学」のそれぞれの組み合わせをいう。

センター試験

数学A・Bは同じ問題選択形式、理科は4パターンのいずれかを選択。

平成27年度センター試験の数学は、「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」が新課程対応の出題となるが、科目・配点・時間は従来と変わらない。ただし、出題内容はそれぞれ新学習指導要領に対応した内容に変わり、とくに数学Aは、3項目(「場合の数と確率」「整数の性質」「図形の性質」)の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題となり、2項目の内容を選択解答する。つまり数学Bと同じ問題選択形式になる。

一方、平成27年度センター試験の理科は、「基礎を付した問題」(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎)を①グループ、「基礎を付していない科目」(物理、化学、生物、地学)を②グループとし、全8科目のうちからA～Dの「4つの選択方法」のいずれかで受験しなければならない。

百周年に向けて 学校長 杉元 羊一



「Yは、こまの回転している状態を示し、人間の精神・身体も休みなく錬磨している場合は安定しているが、休むとすぐに倒れることから、例外を作ることなく、常に積極的に前進する青年学徒の決意と姿勢を表している。」これは、本校要覧に記載されている校章の由来の一つである。

昨年度は、創立五十周年を記念した式典や講演会等の諸行事が催され、同窓生、生徒・教職

員が本校の歴史や伝統を振り返るとともに、本校の社会的使命を再認識する貴重な機会となった。また、文化祭では、サブライズの職員全員合唱が披露され、『率先垂範』の意気が示された。さらに、体育祭では、一期生を中心とした先輩方と当時の先生方による見事な『団魂』(団体訓練)が再現され、『師弟同行』の在り方もうかがうことができた。

こうして、記念行事のたびに生徒一人一人や鹿児島中央という『こま』が新たな力を得て、回転のスピードを増したところである。今後は、生徒自らの夢実現や創立百周年という壮大な未来志向に基づき、自らの回転

のパワーアップが求められる。当然ながら、それぞれの『こま』は運動しており、それを繋ぐのが教師自身の『こま』である。これを忘れてはならない。「生徒はまさに教師を映す鏡である。」(初代柳直一校長)との所以でもある。

『こま』の回転を支えるのは軸の強さであるが、その核心は校是『三綱領五条目』である。私たちは、今こそ、校長・教師・生徒として、この校是を日々自らに問い掛けなければならぬ。「志操は高いか、易きについていないか、共に切磋しているか、責任を果たしているか、自ら運命を開拓しようとしているか」と。



ようこそ 鹿児島中央へ Welcome!!

今年も本校にたくさんの新任の先生方が赴任された。先生方に、次の四つの質問に答えていただいた。

質問事項

- ① 趣味
- ② 好きな言葉
- ③ 高校時代に頑張ったこと
- ④ 中央生へ一言



中島 靖治 教頭

① 剣道、読書、温泉巡り。
② Be just and fear not.
③ 「正しくあれ、そして恐れるな。」(新渡戸稲造の言葉)
④ インターハイ出場を目指して部活に明け暮れました。高校後は必死に勉強しました。



二石 政彦 教頭

① 映画鑑賞と読書
② 明日は明日の風が吹く
③ 部活動(吹奏楽部)です。コンクールや演奏会に向けて毎日一生懸命頑張っています。



野村 礼 先生 (国語)

① 子供と遊ぶ
② 和して流れず
③ 高校時代は、部活動(野球)に一生懸命でした。
④ 色々なことにチャレンジして欲しいと思います。自分の優れた能力が何なのか知るチャンスにもなります。初めての事でも失敗を恐れず正直な気持ちで一生懸命頑張ってください。



鳥居 次郎 先生 (数学)

① スポーツ観戦、ノック。
② 一生懸命。
③ 部活と部活後に部員同士でくだらない話をしていたこと。
④ 自分の将来の夢・目標の実現に向かって努力していきます。



川元 義久 先生 (数学)

① 魚釣り
② 粒粒辛苦
③ 宿題を終わらすこと
④ 過去にがんばったこと、努力に挑戦し、多くの人と触れあっている自分を成長させて下さい。



大野 功 先生 (保健体育)

① 高校野球、剣道四段、読書
② マラソン少々、和太鼓少々。
③ 「全力疾走」
④ 数学の日々題に追いまわられて悲惨な毎日。部活動が唯一の救いでした……。



廣瀬 裕二 先生 (英語)

① 音楽鑑賞・読書
② 一所懸命
③ 部活動・休日課題！
④ 高校生活はあっという間に過ぎていきます。やらなければならぬこと、今しかできないことを考えて、勉強、部活動、趣味など様々なことに挑戦し、日々を大切に過ごして下さい。



常盤 篤史 先生 (保健体育)

① 旅行 温泉めぐり
② しあわせは、いつもじぶんのころがきめる
③ 意外にも、高3の体育祭で、応援団をやっていました
④ 自分の心と体を大切に。自分の人生を大切に生きてください。



飯伏 富士子 先生 (養護教諭)

① スポーツ、野球観戦、熱帯魚飼育
② 「ありがとう」
③ 特に数学が苦手だったので、数学の成績を伸ばそうと必死でした。
④ 高校生の皆さんの可能性は無限大です。今は自分を磨くことができる時期です。大いに自分の可能性に挑戦してください。



北迫 大和 先生 (理科)

① 高校より川内商工高校から本校へ来られた西晴乃先生に、インタビューをした。西先生は「全日本女子選手権大会」という剣道の全国大会で優勝経験のある先生である。



大迫 貴予 先生 (国語)



保健体育科 西 晴乃 先生

先生教えて、聞かせて!! Q&A

生と生徒としてではなく、「人」として手助けや相談などのできる教師でありたい。
Q 好きな言葉とその理由は？
A 一心不乱、ストレートに一つのこと、一生懸命にならなければ中途半端になるから。人生の中で一番、自分に適した答え。

Q 一番自信を持っていることは？
A 何ごとにも一生懸命やること。手を抜かないこと。

Q 生徒にひとこと
A 想像力豊かな生徒であってほしい。時に笑ったり、怒ったりするのは、一生懸命やるから。本校の生徒は、理屈で分かっていても、心で分かっていない生徒が多い。それが返事や態度に表れることがある。そこは改善してほしい。そして、夢に向かって頑張ってください。

Q 今後目指す教師像は？
A 常に「人」になりたい。先

17年ぶり剣道部ベスト4

十七年ぶりに剣道ベスト4。三年生の厚地慶人さんに感想などを聞いてみました。

Q 十七年ぶりのベスト4をどのように思いましたか？
A (はにかみながら…) 道は長かった。試合を重ねることに先生や保護者の方のサポートを支えられていると思います。

Q 剣道部の主将として今まで大変だったことはありましたか？
A みんなの心をまとめること

(加世田匠・中迫千穂子)

第23回 鹿児島中央高校・鹿児島玉龍高校スポーツ交歓会

「中玉戦」5連覇!



白熱、応援合戦!!

中央高校の進撃の狼煙をあげたのは応援団部。勇壮な太鼓の音色に合せて練り出される一糸乱れぬ演奏に、中央高校サイドはヒートアップ。

孝敏さんはこう振り返る。「あつという間でしたね、最後の中玉戦だったので中

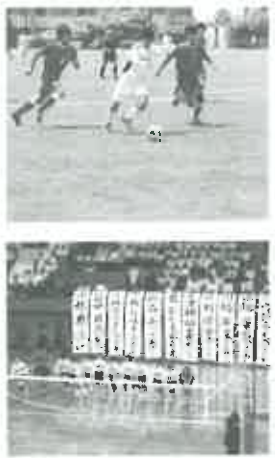
央の華を見せてやるかと思っていまして。また、演舞について、「結局、演舞というの一人の力ではなく、みんなの力で成り立つものなんです。今年の演舞を成り立たせてくれた団長、副団長、応援団部のみんなに感謝したいです」彼の言葉からは応援団の仲間に対する信頼や深い愛情のようなものが感じとれた。

【上村 昭太】

今までテニス部は、ダブルス・シングルともに6試合すべて完勝をおさめてきたこともあり、選手の間にも十分なものであった。部長の常盤美成さんは、「5連覇がかかっていたけど、中でもプレッシャーがかかっていたけど、勝利をおさめることができてよかった」と語った。

【川路 ゆう】

バドミントン競技は体育館でダブルス五試合が行われた。今回は一年生も加わったため通常のペアだけでなく新しいペアでも臨んだ。井上・堂園ペア、藤崎・三角ペアは組んでからありがとうございました」と語ってくれた。



男子バレーボール	鹿児島中央	男子バレーボール	鹿児島中央
女子バレーボール	鹿児島中央	女子バレーボール	鹿児島中央
男子バスケットボール	鹿児島中央	男子バスケットボール	鹿児島中央
女子バスケットボール	鹿児島中央	女子バスケットボール	鹿児島中央
剣道	鹿児島中央	剣道	鹿児島中央
男子弓道	鹿児島中央	男子弓道	鹿児島中央
女子弓道	鹿児島中央	女子弓道	鹿児島中央
野球	鹿児島中央	野球	鹿児島中央
女子バドミントン	鹿児島中央	女子バドミントン	鹿児島中央
男子バドミントン	鹿児島中央	男子バドミントン	鹿児島中央

まり練習ができなかったが、先本で残念ながら負けてしまった。剣道部の選手は、「中央のほころいを守りたくて悔しい」や

この結果を受けキャプテンの井上菜里さんは「今日は私たちの全力のプレーを見せることができなかつたので、残念」と語った。

【本田 彩華・川畑 遼華】

午後一時三十分、青天の県立球場にサイレンが鳴り響いた。この結果を受けキャプテンの井上菜里さんは「今日は私たちの全力のプレーを見せることができなかつたので、残念」と語った。

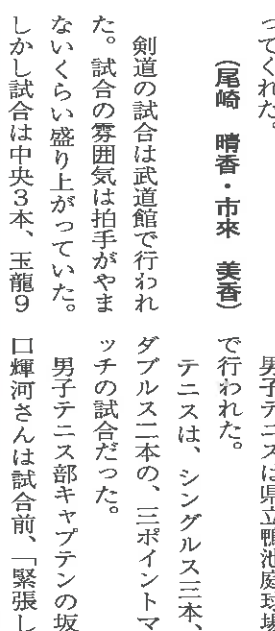
全校応援された女子バレー。結果は一つ及ばず、勝つことができなかったが、三年生の部員全員が、「みんなの応援がうれしかった」と感想を述べてくれた。

【豊園 里紗】

結果は、玉龍と大差で負けました。試合終了後には、スタンドから「よくやった中央」のコールが響きわたった。

【尾崎 晴香・市来 美香】

剣道の試合は武道館で行われた。試合の雰囲気は拍手がやまないくらい盛り上がりがあった。



「私は短期間でもとても強くなった」とそう話してくれたのは女子弓道部三年の先輩方。中玉戦、弓道の試合は県武道館で行われました。今年の中玉戦は昨年と一味違った。日々、本格的な指導を受け、結果、女子弓道は一本差で粘り勝ち。

「自分の正しいと思うことをつらぬいて、それを曲げずに努力を続けてほしい。」ますます強くなる弓道部のこれからの活躍に期待!

【録田 真希】

そんなダンス部を一目見ようとした。ファイナルは第一部、引張つてきたキャプテンの折田咲乃さんは「これからはキャプテンとしてみんなを支え、これから愛されるダンス部を目指して頑張る」と力強く語った。

【篠原 歩美・徳田 結生】

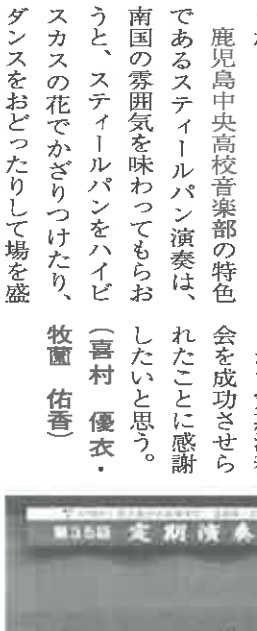
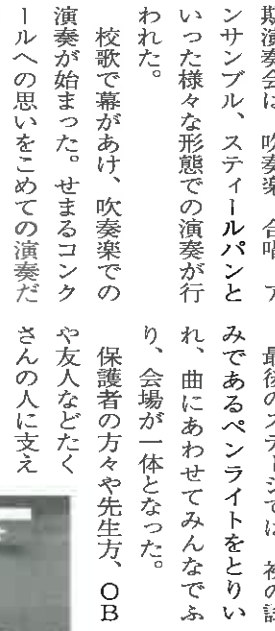
第15回 感動のFINAL ステージ

六月八日に第十五回ダンス部ファイナルが行われた。ダンス部はこの日のために三年生を中心に、日々練習に励んできた。

六月二十一日午後、宝山ホールにて本校音楽部、合唱部による定期演奏会が行われた。

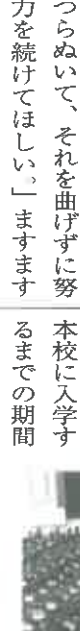
第35回 音楽部・合唱部定期演奏会

六月二十一日午後、宝山ホールにて本校音楽部、合唱部による定期演奏会が行われた。今年で三十五回目となった定期演奏会は、吹奏楽、合唱、アンサンブル、スティールパンといった様々な形態での演奏が行われた。



「来年からの試み(52期生)」 今年からの新たな試みを紹介したい。五十二期生に對して、中学校を卒業し、本校に入学するまでの期間に、本年度から、「入学前学習支援」を希望者に対して行った。国語・数学・英語に関して、高入っているように支援が行われた。

また、例年行われている新入生オリエンテーションについて、机と椅子を全員搬入させ、体育館で中央生としての過ごし方などの礼法指導や各教科の学習指導が行われた。机が三百余り整然と並べられた光景は圧巻であった。今後のさらなる中央生の飛躍を予感させるものであった。



【編集後記】 昨年度の夏は、二十七年ぶりに、野球部がインターハイ。本年度は、男子バスケットボール部がインターハイ。各部、文武両道で日々練習している。

雨の中でも三年生大活躍

前期クラスマッチは、選手らが泥だらけになりながら熱戦を繰り広げた。それぞれの競技の準決勝・決勝では、各会場から大きな歓声が響き、各クラス一丸となり優勝を目指して応援した。

【下野 真澄】

鹿児島中央高校音楽部の特徴であるスティールパン演奏は、わたりつづ精一杯楽しみたいと言っていた。

